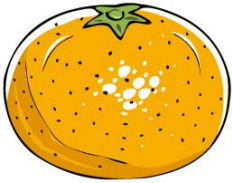


# 献立ひとくちメモ

2月3日(水)



デコポンのお話です。

1972年、長崎県で生まれた品種で、清見オレンジとポンカンの交配種として誕生しました。正式な品種名は「不知火<sup>しらぬい</sup>」と言い、デコポンはJA熊本果実連（熊本県果実農業協同組合連合）が登録した商標名です。不知火の中で糖度が13度以上、クエン酸1%以下のものを「デコポン」と呼ぶことができます。

デコポンの重さは200g前後で、頭部がコブのように出ているのが特徴です。これを「デコ」と呼びます。果肉はやわらかくて果汁が多く、甘いので人気です。主に熊本県や愛媛県で生産されており、旬は12月から4月にかけてです。